

要望活動

地域の皆さまからいただいた声を行政に届け、道路等の補修などを実施していただきましたので、その一部をご紹介します。引き続き、暮らしやすい街を目指して、皆さまの声を届けていきます。

歩道橋（通学路）舗装改修



Before

After

瀬野駅歩行者信号設置



Before

After

農業用水路改修



Before

After

交差点路面標示新設



Before

After

道路舗装改修



Before

After

見通し不良樹木伐採



Before

After

特別支援学校通学バスの継続



瀬野川公園へ東屋を新設



特別支援学校の通学バスは、契約更新で瀬野駅ルートが廃止される予定でしたが、保護者の方から陳情をいただき、市議会で訴え、存続が決定しました。

瀬野川公園の利用者の方から東屋設置の陳情をいただき、区役所の担当課へ訴え、日除け用の屋根などの休憩場所を新設していただきました。

地域活動

小学生の朝の見守り活動

交通安全運動推進隊員として週初めに地元瀬野駅の北口で交通誘導をしておりましたが、今年度から小学生の見守りも兼ねて、瀬野小学校近くに場所を移して活動しております。



コラム

YouTube チャンネル開設

公式 YouTube チャンネル「**『しんぺいチャンネル』**」を開設しました！市議会での質疑など、私の議員としての活動などの動画を少しづつ配信していくたいと思いますので、ご視聴をお願いいたします。

[YouTube]



市政に関するご相談はお気軽に
「西佐古しんぺい事務所」まで

〒739-0311 安芸区瀬野 1-16-10 瀬野川ビル 101

Tel : 082-820-3025 Fax : 082-820-3026

Mail : info@nishisako-shinpei.com

【公式HP】



【Facebook】



【Instagram】



【X(旧Twitter)】



広島市議会議員（安芸区）**西佐古しんぺい**の市政報告

「しんぺい通信」4号

2024年11月号

自由民主党・市民クラブ

〒730-0042

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

安芸区瀬野出身

西佐古しんぺい

今年の夏“も”とても暑かったです。我らの『カープ』も猛暑でバテてしまったのか、9月に大失速して残念な結果に終わってしまいましたが、それでも、若手選手をうまく育成し、限られた人材の中で8月まで首位に立っていたことは、素晴らしい結果であり、新井監督の手腕なのだと思います。来年もまた見たことのある白熱プレーを期待しています。

さて、本年もまた「政治とカネ」の問題が政界を大きく揺るがせました。私も一人の自民党員として、「裏金」と称される収支報告書の不記載問題や、その後の対応には残念な思いがあります。我々、地方議員と国会議員とでは、扱うお金も仕事の範囲も違いますが、私が政治家を志したのも、「政治とカネ」が起点でした。初心を忘れず！愚直に仕事と向き合い、少しずつ信頼を頂けるよう頑張りますので、引き続き、よろしくお願ひいたします。

「こども文教委員会」の委員長に就任しました！



今年度より、常任委員会の一つ『文教委員会』に「子育て」「児童福祉」などの項目が移管され、新たに『こども文教委員会』として再編されました。私は本年6月より、同委員会の所属になりました。議員3年目にして、委員長という大役を仰せつかりました。昨年の『厚生委員会』副委員長に引き続き、身に余る大役ではありますが、子育て支援や児童福祉の拡充は、私の公約でもありますので、引き続き、しっかりと務めてまいります。

特別委員会

都市活性化対策特別委員会

所属会派

自由民主党・市民クラブ（副幹事長）

活動日記

議員としての日々の活動を抜粋してご紹介します。（2024年4月～2024年10月）

4月 5日（金）

児童相談所、こども療育センター等「開所式」に出席。

6月 18日（火）～28日（金）

市議会「6月議会」に出席。

8月 21日（水）～22日（木）

九州出張。「こども本の森熊本」等を視察。

7月 6日（土）

「平成30年7月豪雨災害」の各被災地にて献花。

8月 26日（月）

こども文教委員会視察。（青少年センターほか）

5月 14日（火）～15日（水）

熊本市へ出張。「政策研究会」へ参加。議会のDX化の視察。

9月 12日（木）～26日（木）

市議会「9月議会」に出席。（一般質問！※詳細は中面）

5月 19日（日）

「平成30年7月豪雨災害」の各被災地にて献花。

9月 13日（金）

東京出張。岸田総理と面会。

5月 23日（木）

「平成30年7月豪雨災害」の各被災地にて献花。

9月 15日（日）

「敬老会」（瀬野・中野東）

5月 26日（日）

「平成30年7月豪雨災害」の各被災地にて献花。

10月 1日（火）～18日（金）

「決算特別委員会」に出席。（4項目質問※詳細は中面）

5月 27日（月）

「平成30年7月豪雨災害」の各被災地にて献花。

10月 29日（火）

「市立高校生による市議会への提案発表会」へ出席。

5月 31日（金）

「都市活性化対策特別委員会」に出席。

8月 5日（月）～6日（火）

「平和記念式典」等に参列。

6月 1日（水）

「平和記念式典」等に参列。

10月 15日（日）

「平和記念式典」等に参列。

6月 2日（木）

「平和記念式典」等に参列。

10月 16日（月）

「平和記念式典」等に参列。

6月 3日（金）

「平和記念式典」等に参列。

10月 17日（火）

「平和記念式典」等に参列。

6月 4日（土）

「平和記念式典」等に参列。

10月 18日（水）

「平和記念式典」等に参列。



「9月議会」一般質問に登壇！



市議会 HP にて
動画配信中↑

今回的一般質問では、学校、にぎわい施設、子育てなど5項目の質問と各種要望を行いました。その内の一覧を抜粋して紹介します。

① 松井市長の「全国市長会」会長就任

質問 本年6月に松井市長が全国市長会の会長に就任された。就任あいさつの中で述べられている「都市自治体が抱える諸課題」の解決に向け、これまでの市政運営を踏まえ、どのように取り組むのか市長の思いを聞かせていただきたい。

回答 市長就任以来、地方分権改革に意欲を持って取り組んできた。国と自治体の役割分担の再定義や、自治体同士は「競争」から「協調」への発想転換が必要だ。平和文化の振興にも共に取り組める環境を作りたい。眞の地方分権、地方創生の実現に向け、全国市長会会長として全力を尽くす。

要望 地方の現状を見ると「こども医療費」や「給食費の無償化」などの子育て支援の分野においては、自治体間に多くの「競争」を生み出しているので、こうした自治体間競争の是正に向け、国へ大きな声を届けていただきたい！

② 学校の「プール開放」

質問 コロナ禍以前は、市内102校の小学校で夏休みの「プール開放」が行われていたが、今年度は12校でしか実施がなかった。原因がいくつかある中で、暑さ対策が一番の課題であるが、こうした現状を踏まえて、夏休み期間にスポーツセンターのプールを小学生に無料開放してはどうか。

回答 小学校の「プール開放」は熱中症リスクの増大や監視員が確保できないなどの理由により実施校が激減している。今後の「プール開放」については、スポーツセンターのプールの無料開放の可否も含め、保護者へのアンケート調査により実態を把握した上で検討する。

要望 学校プールの暑さ対策として、公立保育園などで行われている簡単な日除けネットを設置してはどうか。費用対効果を含め、検討していただきたい。市内の博物館や青少年センターなどは、子どもが無料で使えるが、スポーツセンターや運動公園など、スポーツをする施設においては、子どもへの優遇制度はない。子どもの体力向上や、スポーツに触れる機会を増やすような取組の一つとして、スポーツセンターの無料開放を検討いただきたい！

③ 若手職員の働きやすさの向上

質問 市の職員採用試験の状況を見ると、受験者数、競争率ともに減少傾向にあり、また、若手職員の離職率も増加している。この現状を市はどう考え、離職防止にどのように取り組んでいるのか。

回答 民間企業と人材獲得競争が激化する中で、インターンシップ制度や職員採用バンフを見直し、市職員として働く魅力を広く紹介している。離職防止の取組として、テレワークや時差出勤など柔軟な働き方を推進しつつ、カスタマーハラスマント対策の一つとして、名前札のフルネーム表記を見直す。

④ 「道の駅」の整備

質問 広島市内には「道の駅」がない。東広島市や安芸高田市の「道の駅」では、賑わいが創出されている。地域から本市に「道の駅」の整備を要望された場合、どのように対応し、課題はあるか。

回答 「道の駅」の整備には、安全で快適な道路交通環境の提供と地域振興への寄与という二つの目的に合致する必要があり、また周辺市町の整備状況や、整備後の費用対効果を見極めたうえで、実現性を検討することとしている。

要望 東広島市の道の駅『のん太の酒蔵』では「防災」という機能も付加されている。今後、広島市においても「道の駅」の整備を検討する場合、「防災拠点」という観点も取り入れて検討していただきたい！

⑤ 保育園でのおむつのサブスク導入

質問 私が議会で提案した保育園でのおむつのサブスク（定額サービス）の実証実験を本年8月に行なったが、実際に本格導入するのはいつになり、その場合の保護者の負担金額はどれくらいになるのか。

回答 実証実験の結果、本サブスクは、保護者と保育士双方の負担軽減に一定の効果があったと考え、懸念点の解消を検討しつつ、早ければ令和7年4月からの本格導入を考えている。保護者の負担額は2,300円～3,300円くらいを想定。



「決算特別委員会」で質問！



市議会 HP にて
録音配信中↑

R5年度決算の内、税財政、学校のDX、災害時の施設運営などの観点から、計22問の質問を行いました。そのうちの一部を紹介します。

① ふるさと納税（総括質疑）

質問 「ふるさと納税」制度により、本市が実質的に失っている税収はいくらか。また、昨年、私が議会で提案した返礼品の増加や魅力アップについての検討状況はどうか。

提案 R2年度以降、失われる税収額は毎年増加していく看過できない状況にある。市の返礼品メニューは他都市と比べても非常に少なく、また本市の良いモノをうまくPRできていないと感じている。他都市のように予算をかけて民間委託するか、専門の組織を作って返礼品を拡充し、税収減の縮小と、市の魅力のPRを図ってはどうか。

回答 「ふるさと納税」制度によるR5年度の本市の実質的に失われた税収額は約11億4千万円になる。返礼品の魅力アップとして、G7広島サミットに関連した商品10点を新たに返礼品として追加した。



② 事務事業評価（総括質疑）

質問 R5年度、本市が新規に行った事業の決算額と、各種事業の見直しにより捻出された金額はいくらか。また、本市は政令市の中で唯一「事務事業評価」を実施していないが、それはなぜか。

要望 新規事業や事業見直しによる決算額が少ないと感じる。社会情勢が変化を続ける中で、時代に合った施策が必要である。「事務事業評価」を復活して事業見直しを進め、時代にマッチした機動的な行政運営をお願いする。

回答 R5年度の新規事業の決算額は1億282万円で、事業の見直しや経費節減の効果額は約1億9千万円であった。本市ではH15年度から事務事業評価を実施していたが、市民目線に立った事業の見直しや施策の展開に繋がっていないかったため、H23年度以降、事業評価を休止している。



③ 『学校連絡ポータル』（こども文教関係）

質問 オンラインで登下校の連絡や、学校からの情報配信、アンケートなどを行うことができる『学校連絡ポータル』の市立学校への導入状況はどうか。導入していない学校は、なぜ導入していないのか。また、同様のシステムを放課後児童クラブに導入できないのか。

要望 「学校連絡ポータル」を導入していない学校では、PTAが利用料を負担して民間アプリを使用している事例もあると聞く。本システムの導入が進めば、PTAの負担が減るケースもある。アナログを求める声が一定数あるが、デジタル化は教員の負担軽減にも資するため、引き続き、学校と保護者への周知と理解を進めていただきたい。

回答 昨年度から導入した『学校連絡ポータル』を利用している市立学校は全231校中、55校である。（R6年9月時点）本システムを導入していない学校では、既存のアプリなどを使用しており、保護者との調整が必要などの理由により導入されていない。また、放課後児童クラブにおいても、連絡方法のオンライン化も含めて検討していく。



④ 非常時の公共施設の運営と職員の働き方（総務関係）

質問 台風などの悪天候の際に、公共交通機関が運休した場合、市職員は自家用車などの代替手段で通勤すると思うが、それに係る費用は通勤手当で支給されるのか。また、避難指示が出された地域においては、交通機関や民間企業のように、公共施設も計画的に休館できるような仕組みが必要ではないか。

提案 本年8月の台風接近の際には、交通機関や民間企業は「計画運休」を行ったが、公共施設は開館したり休館した施設があり、対応がバラバラだった。行政が避難を促す勧告を発出しておきながら、施設を開館して利用者を受け入れるのは矛盾を感じる。非常時の人員体制、施設運営について、「計画運休」も含めて、市全体の統一的な基準・指針を作成してはどうか。市が率先して取り組むことで、社会全体が「災害へ備える」機運を醸成できると考える。

回答 公共交通機関が運休となり、職員が一時に自家用車などで通勤した場合は、通勤手当の支給対象にはならない。また、災害発生時や災害発生が見込まれる場合、各公共施設の管理担当課において、利用者の安全対策や施設の開閉基準などを定めた計画を作成するなど、必要な対策を講じるように「地域防災計画」で定めている。

